

診療科目：腎臓内科

カテゴリー：選択科目

一般目標：腎臓内科、血液浄化療法、膠原病の一般診療に必要な考え方を習得し、専門的な技能について理解することを目標とし、合わせて、一般内科全般に対する臨床医としての基本的な知識を確認し、習得する。

担当課：腎臓内科

期間：1～3ヶ月

A. 指導体制

1. スタッフ

役割	氏名	職名	医師登録年月日
科目責任者	山田 裕治	透析部長	1983. 5.24
	大鐘 邦裕	医員	2005. 4. 6
	谷 悠紀子	医員	2006. 4.11

B. 指導原則、方法

- 1 腎臓病，膠原病の入院患者を担当し、指導医とともに診療する過程で、基本的な治療方針の立て方を理解し、ならびに具体的な臨床技術を学ぶ。
- 2 指導医の外来診療に参加し、診療補助を行う過程で、臨床治療を学ぶ。
- 3 内科カンファレンス、臨床病理検討会に参加し、詳細な症例検討を通じて一般臨床を学ぶ。
- 4 腎臓病教室に参加し、患者指導の方法を習得する。
- 5 随時、宿直・日直に参加し、一般内科の研修も行う。

C. 週間スケジュール

	午前	午後		
月曜日	8：30 より病棟回診 9：00 より透析業務	腎生検	病棟回診	5：00 より 症例検討会
火曜日	8：30 より初診外来補助	病棟回診		
水曜日	8：30 より初診外来補助	病棟回診		18:00 より症 例検討会
木曜日	9：00 より透析業務	CAPD 外来 の診療補助	病棟回診	
金曜日	9：00 より透析業務	病棟回診		

D 科目責任者からのメッセージ

腎臓疾患は慢性疾病が主体で、特に透析医療は終末医療でもあります。だから、他の内科領域と比較して患者さんとの付き合いはけた違いに長い点が特徴です。また、腎臓ばかりでなく全身管理が必要であり、実際には治療困難な場合も多く、この点、幅広い知識と、人間性を絶えず問われつつ患者さんと向き合う忍耐力が要求されます。これこそが腎臓内科診療における醍醐味でもあり、その一端を一緒に味わってみませんか。